

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	基礎点検
事務事業名	環境事業所運営管理	シート番号	B 法定義務等事業 10-41
担当部署名	環境 局 環境事業 部 環境事業所 課	評価責任者(課長名)	谷村

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	5	持続可能な環境共生都市を実現します	後期実施計画の位置付け	
			施策	2	循環型社会推進と自然環境の保全・再生	無	
	2	事業開始年度	平成 10 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、堺市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例				
	4	関連計画	第3次堺市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画				
5	事業実施の経緯	一般廃棄物の処理は、廃棄物処理法上、市の固有事務であり、市直営と民間委託で市内のごみ収集を担ってきた。直営事業所では、これまで南区の生活ごみと粗大ごみ収集を行ってきたが、収集業務の委託化拡大により平成25年度から生活ごみ収集を全市域で委託化し、事業所は、粗大ごみ収集に特化を図り、直営独自の業務に取り組んでいる。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (環境事業所) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	・市民より排出される粗大ごみ ・市内小学校の児童			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	・粗大ごみ収集を滞りなく行うことで、生活環境の保全ならびに公衆衛生を安定させる。 ・次世代を担う児童たちに環境意識を芽生えさせる。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・一般家庭から排出される粗大ごみを円滑に迅速かつ定期的に収集を行う。 ・粗大ごみの排出が困難な介護を要する高齢者や身体障がい者等を対象に屋内収集を行う。(粗大ごみふれあい収集) ・工場見学の児童を対象に、視聴覚教材を使い環境啓発を行う。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他()				

Ⅲ. 投入量

	項 目	単 位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	25,001	34,968	45,822	72,738	
	主な事業費内訳	光熱水費	千円	4,906	5,041	5,020	5,044
		修繕費	千円	5,481	6,546	7,061	5,103
		塵芥処理車等購入	千円	7,150		1,815	9,605
		人材派遣委託料	千円			26,450	42,643
		国・府支出金	千円				
	財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円	5,300		1,300	7,200
		その他(施設の光熱水費徴収金等)	千円	77	182	80	82
		一般財源	千円	19,624	34,786	44,442	65,456
	12	人件費 (b)	千円	242,600	235,200	220,100	212,400
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	267,601	270,168	265,922	285,138	